

## 血液内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

### 記

研究課題名	急性骨髄性白血病に対する HLA 半合致移植後のドナーリンパ球輸注
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	血液内科
研究責任者	助教 堀尾知弘
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	主たる研究実施機関：東海大学 研究責任者：原田 介斗 参加施設：造血細胞移植医療に携わるわが国のすべての医療機関（日本造血細胞データセンターホームページで閲覧可能）
研究の意義・目的	本研究は、わが国における造血細胞移植医療の状況、治療成績などを調査する疫学研究です。
対象となる患者さん	2005年1月から2017年12月の間に血清2座以上不適合血縁ドナーより同種造血幹細胞移植をうけ、移植後にドナーリンパ球輸注を行った患者さん
研究の方法	わが国で行われた血清2座以上不適合血縁ドナーからの同種造血幹細胞移植における患者さんの診療情報などのデータを担当医が専用の調査票に入力します。 また、日本造血細胞移植学会の学会ホームページにおいて、本研究の研究実施についての情報公開が行われており、どなたでも閲覧可能です。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2025年3月31日
研究に用いる試料・情報	試料：なし 情報：ドナーリンパ球輸注を行った理由やドナーリンパ球輸注前の化学療法の内容、ドナーリンパ球輸注を行った回数、ドナーリンパ球輸注の治療効果など。
外部への試料・情報の提供	専用の調査用紙に診療録から得られた情報を記載し、日本造血細胞移植データセンター（JDCHCT）へ送付します。
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学

	内科学講座（血液内科） 担当者：助教 堀尾 知弘 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 23540）